



デジタルで暮らしを便利に

市と xID 株式会社が3月14日、「DX 推進に関する連携協定」を締結しました。

マイナンバーカードとそれに紐づけられたデジタル ID を利活用し、便利で、やさしく、利用しやすい行政サービスの実現を図っていきます。同社の日下光代表取締役 CEO は「デジタルを一つのツールとして生活の利便性向上に貢献したい」と話しました。

◀協定書にサインする柳澤市長と日下代表取締役 CEO



健康マイレージで健康増進

市民の健康づくりを促進する「健康マイレージおまえざき」の景品抽選会が3月16日、市役所で開かれました。健康マイレージとは、運動や食事、その他日々の生活習慣の改善や健康診断の受診などをポイント化し、期間中に一定のポイントを貯めた人が特典を受けられるものです。柳澤市長は「マイレージを機に、健康づくりに関心を持ってほしい」と話しました。

◀遠州夢咲牛などの景品の抽選をする柳澤市長



500日間交通死亡事故ゼロ

市内で交通死亡事故が500日間発生しなかったことを受けて3月16日、静岡県交通安全対策協議会から「交通事故優良市町」の表彰状が授与されました。

令和3年10月4日を最後に交通死亡事故の発生がなく、令和5年2月17日に500日を達成。柳澤市長は「地域団体や市民が一体となり交通ルールを順守したおかげ。今後も安全対策を講じていく」と話しました。

◀入戸野静岡県暮らし交通安全課長から表彰状を受け取る柳澤市長



交通安全功労が認められる

交通安全協会菊川地区支部長を務める藤沢照夫さん（大山区）が3月17日、交通栄誉緑十字銀章の受章を柳澤市長に報告しました。

同章は、永年無事故無違反を続け、他のドライバーの模範となっている人や地域で交通安全に功労があった人が表彰されるもの。藤沢さんは「子どもたちが事故に遭わないように見守りたい」と話しました。

◀平成5年から29年間、交通安全協会役員を務めている藤沢さん



災害時の市民生活を支える

市と市社会福祉協議会は3月20日、「災害ボランティア本部設置・運営等に関する協定」を締結しました。

同協定には災害時における協力内容やそれぞれの役割が記載され、災害時には同協議会が本部を設置し、災害ボランティアへの橋渡し役を担います。柳澤市長は「災害時には、この協定に基づいて被災者を迅速に支援していきたい」と話しました。

◀新たに協定を締結した柳澤市長と同協議会繁田昇会長



犯罪被害者の心に寄り添う

市と菊川警察署、認定 NPO 法人静岡犯罪被害者支援センターは3月28日、「犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定」を締結しました。

住民の誰もが安全・安心に暮らせる地域社会のため、3者が連携し、犯罪被害者の心情に配慮した適切なサポートをします。同センターの白井孝一理事長は「被害者を社会全体で支えていきたい」と話しました。

◀柳澤市長は「安全・安心なまちを目指したい」と話しました



御前崎の魅力を全国に発信

地域おこし協力隊員に就任する瀬尾陸斗さんへ3月30日、柳澤市長から委嘱状が手渡されました。

任期は4月1日から最長3年間。ライフセーバーや番組制作会社への従事の実験を生かし、マリンアクティビティを活用した地域活性化や PR 動画の制作などに取り組みます。瀬尾さんは「自分自身が御前崎を楽しみ、魅力を全国に伝えたい」と話しました。

◀柳澤市長は「自然豊かな御前崎の魅力を感じてほしい」と話しました



河原崎全氏が県議会議員に

静岡県議会議員選挙が4月9日に執り行われ、御前崎市選挙区は河原崎全さんが無投票で初当選を果たしました。翌日の10日には、御前崎市選挙区の佐藤陽一郎選挙長より当選証書が付与されました。

御前崎市そして静岡県の発展のため活躍が期待されます。河原崎県議は「市民や県民の負託に応えられるよう精一杯努めます」と話しました。

◀佐藤選挙長から当選証書を受け取る河原崎県議